

ESDで問題と向き合うための考え方

自分のことだけではなく、世界のみんなのことを考えてみましょう。そして、未来の地球に生まれてくる新しい命や将来の自分、世界中の人々を想像してみましょう。ここでは、ESDの考え方を6つに分けて紹介します。



**たよせい
多様性**

いろいろある

世界には多くの国や文化があり、人々の暮らし方や考え方さまざまです。自然の様子も場所によって異なります。何かを見る時には、いろいろな立場から考えてみましょう。

**こうへいせい
公平性**

一人ひとり大切に

ひとつの地球上にみんなの命があります。国や年令を問わず、誰もが等しく、幸せに暮らせる権利を持っていることを忘れてはいけません。

**そう じせい
相互性**

関わり合っている

生き物は周りの自然とつながり、人も自然から食べ物や燃料などをもらっています。人同士はもちろん、すべてのものが互いに関わり合っていることを意識してみましょう。

**れんけいせい
連携性**

力を合わせて

一人ひとりの力は小さくとも、みんなで知恵や力を合わせて協力すれば、大きなことが成しとげられます。人の意見にも耳をかたむけ、誰かと話し合いながら問題を考えてみましょう。

**ゆうげんせい
有限性**

限りがある

食べ物や光や電気などは、無限にあるわけではありません。すべてのものには限りがあるということを理解し、未来のためにはどうすればよいかを考えてみましょう。

**せきにんせい
責任性**

自分がやるべきことを

自分ができること、やるべきことを考えて、人任せにしないで、自分から進んで行動することが大切です。責任を持って行動しましょう。

ESDで問題を解決するための工夫

工夫を取り入れて、できることから始めましょう。みんなが取り組めば、その行動は世界に広がります。人々が地球のことを考えて生活することは、ESDで目指す「今も将来も、幸せに暮らせる社会」につながります。



ESD/ECDの考え方と工夫

**ぎもん
疑問を持ってみよう**

本当に正しいこと？どんなことにも疑問を持って考え、自分が納得できる理由を探してみましょう。

みんなで協力しよう

みんなで協力すれば、できることがたくさんあります。いろいろな人の立場に立って考え、協力して物事を進めてみましょう。

**そうぞう
未来を想像して計画しよう**

今や昔を考えて、未来を想像してみましょう。どうすればみんなが望む未来になるのか、考え方を工夫して計画することも大切です。

つながりを大切にしよう

毎日の暮らしは、いろいろなものとつながり、そして支えられています。何と何がつながり、関わり合うのか意識して生活してみましょう。

いろいろな方向から見てみよう

いろいろな方向から物事を見てみましょう。また、物事を関連づけて考えてみましょう。新しい発見があるかもしれません。

進んで参加しよう

誰かのため、みんなのため、進んで行動してみよう。自分のできことがたくさん見つかるはずです。

**だれ
誰かに気持ちを伝えよう**

自分の思ったこと、感じたことは誰かに話してみましょう。周りの人の意見を聞いてみるのもポイントです。

何ができるかな？さっそく行動してみよう！

ESD